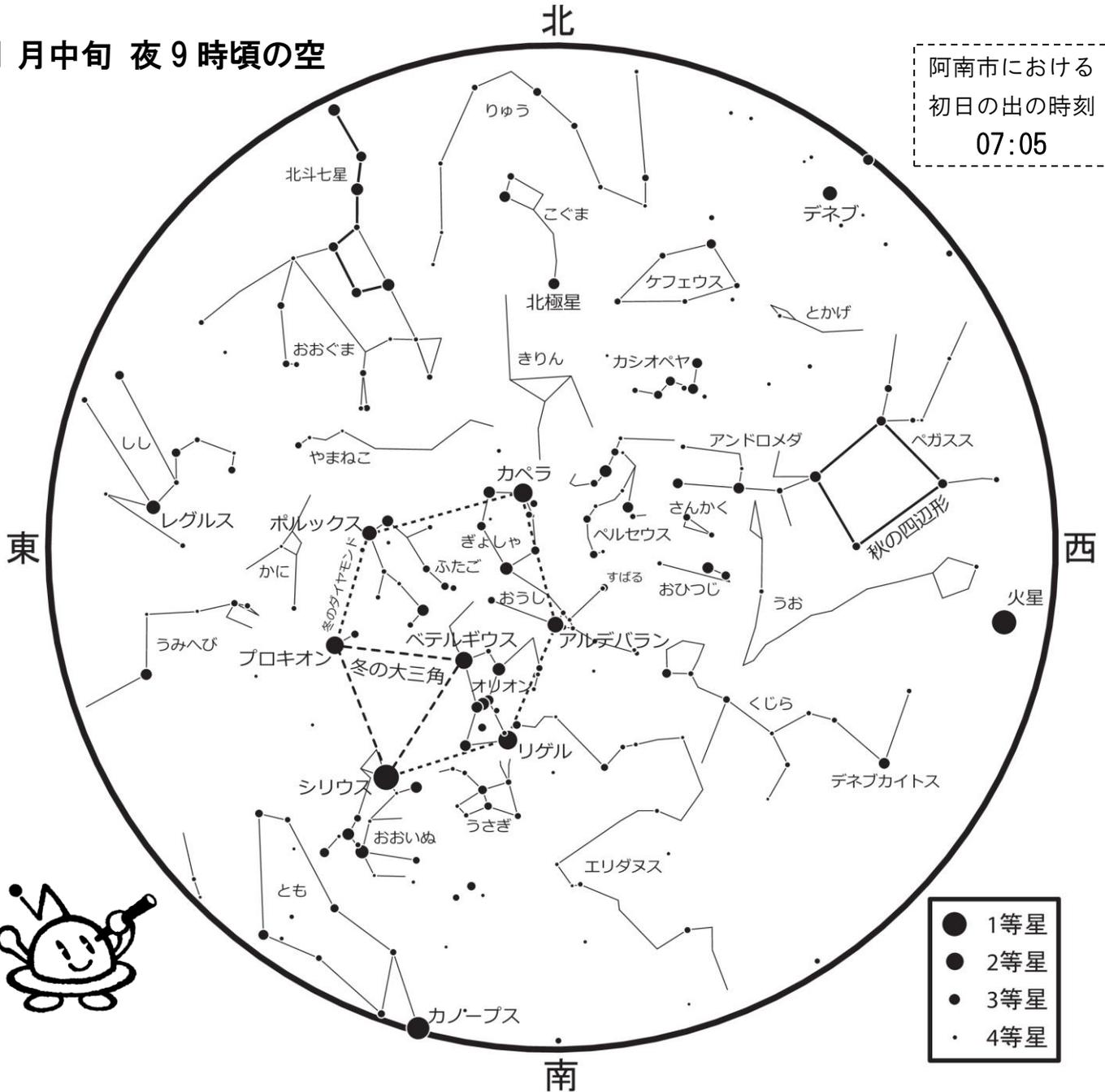


阿南市科学センター 1月の星空案内

1月中旬 夜9時頃の空

阿南市における
初日の出の時刻
07:05

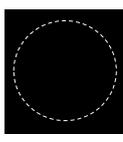


冬の夜空には1等星よりも明るい星たちが7つ輝き、冬の澄んだ空気と相まって大変きらびやかな夜空を楽しむことができます。星座としてはオリオン座を見つけやすく、赤色に輝くベテルギウスと、青白く輝くリゲルという二つの1等星が目をはきまします。ベテルギウスの近くにはシリウス(おおいぬ座)とプロキオン(こいぬ座)という星があり、これら3つを結べば冬の冬の大三角ができあがります。このうちシリウスは恒星として全天で最も明るく(太陽を除く)、マイナス1.4等という明るさで輝いています。ちなみにリゲル、シリウス、プロキオン、そしてポルクス(ふたご座)、カペラ(ぎょしゃ座)、アルデバラン(おうし座)をつなげば、冬のダイヤモンドと呼ばれる大きな六角形を夜空に描くこともできます。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

◇ 月の満ち欠け

| 名 称 | 上弦の月 | 満月 | 下弦の月 | 新月 |
|------|---|---|---|---|
| 形 状 |  |  |  |  |
| 見える日 | 1月6日 | 1月12日 | 1月20日 | 1月28日 |

◇ 惑星について

| 名 称 | 水 星 | 金 星 | 火 星 | 木 星 | 土 星 |
|------|-----------------------|---------------------------------|---------------|---------------------------|--------------------------|
| 見どころ | 中旬ごろ夜明け前、東の低空で観察しやすい。 | 日没後に 宵の明星 として西の空で観察しやすい。 | 日没後に南西の空で見える。 | 夜半過ぎに昇り、スピカ(おとめ座)の近くで観察可。 | 夜明け前、東の低空(へびつかい座)で観察できる。 |
| 明るさ | 約0等 | 約-4.5等 | 約1等 | 約-2等 | 約0.5等 |

◇ 今月のおすすめ天体

オリオン大星雲(M42)

月のない晴れた夜、オリオン座の三つ星から少し南のあたりを双眼鏡などで観察していると、ぼんやりと光る天体を見つけることができます。これは**オリオン大星雲**と呼ばれ(図1)、光害の少ないところであれば肉眼でもその姿を確かめられます。この星雲は地球から約 1400 光年離れた位置にあり、主に**水素**や**酸素**などのガスで構成されています。星雲の中央には**トラペジウム**と呼ばれる4つの星が寄り添うように輝き、これらの星から発せられる紫外線によって星雲が発光しています。星雲のガスは星を形成する材料でもあり、トラペジウムはオリオン大星雲で誕生したばかりの星だと考えられています。冬の定期観望会では大型望遠鏡でオリオン大星雲の迫力ある姿をお楽しみ頂けます。



図1: オリオン大星雲(撮影:2016/11/24).

◇ 今月の天文現象 ～金星がとても見やすい!～

日没後の西の空高い位置において、**金星**(宵の明星)がとても観察しやすくなっています。1月12日には金星の見かけの位置が太陽から最も離れ(**東方最大離隔**)、望遠鏡で観察をすると半月状に欠けた姿を見ることができるでしょう。金星の近くには**火星**も見つけることができます(図2)。

なお1月2日は**金星**と三日月の接近(月3個分ほど)、3日は**火星**と三日月(月1個分ほど)の接近があります。新年早々ではありますが、惑星たちと月のランデブーも是非お楽しみください。



図2: 金星の位置.